



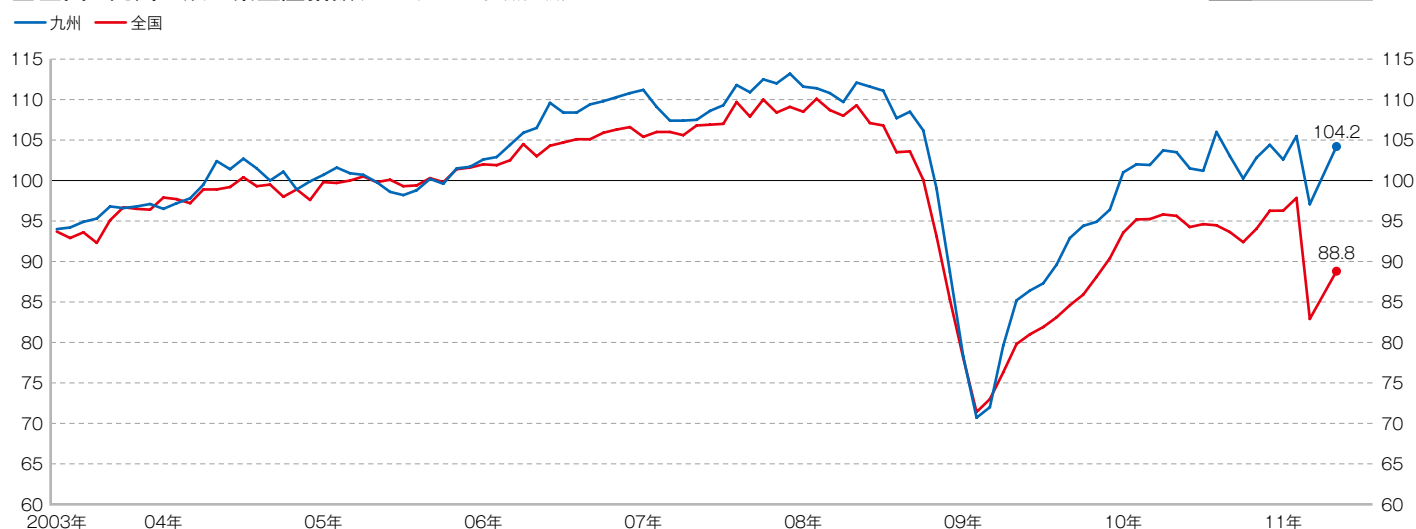
九州の鉱工業生産動向

基調判断 | 回復に向けた動きは継続している

2011年5月の九州地区の鉱工業生産指数(季節調整済)は、前月比2.7%上昇の104.2と2ヵ月連続で前月実績を上回りました。化学、一般機械等の一部業種では調整も見られましたが、部品供給体制の復旧により急速に生産が持ち直した自動車等の輸送機械が全体をけん引し、回復に向けた動きは継続しています。

■全国と九州の鉱工業生産指数 (2005年=100・季節調整済)

出所 九州経済産業局

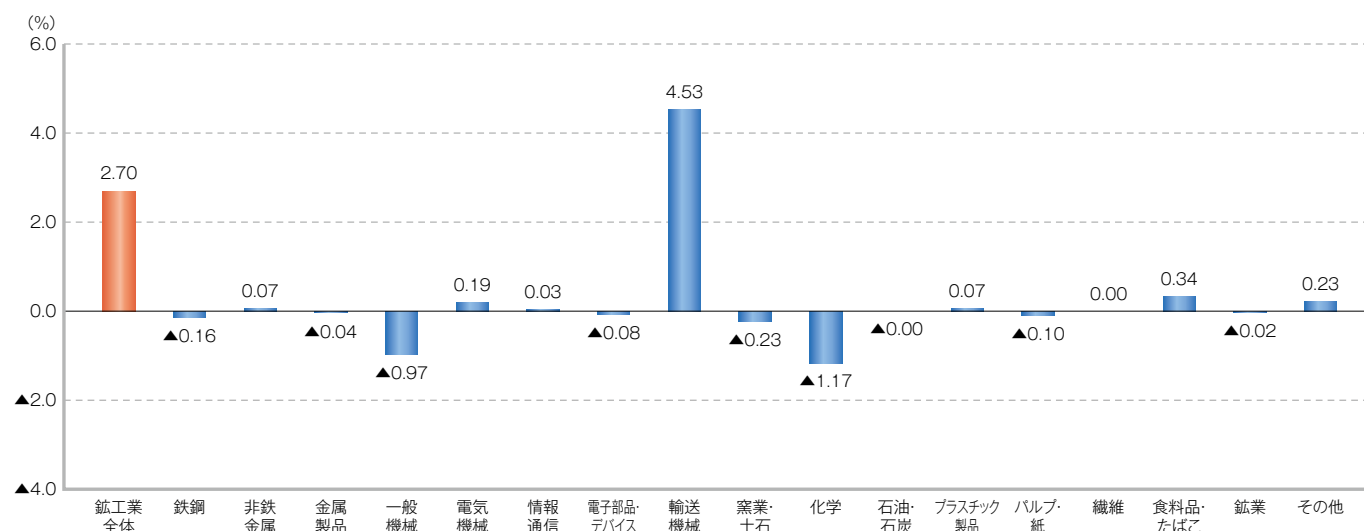


業種別動向 | 一部調整の動きが見られる中、輸送機械が大幅に回復

業種別の寄与度をみると、製造プラントの定期修理で生産が低下した化学をはじめ一般機械等がマイナスに寄与した一方、震災直後に減産等で大きく落ち込んだ輸送機械の操業度が部品供給体制の復旧で大幅に回復したことに加え、食料品もビール等の代替生産によってプラスに寄与しました。

■業種別寄与度 (鉱工業生産指数)

出所 九州経済産業局



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 震災の影響が残り、生産活動は弱含み

生産活動については、東日本大震災の影響が残り、生産に必要な部品の調達に支障をきたしている自動車等の輸送機械が前月に引き続き低下した他、鉄鋼、一般機械、化学等、主要業種も低下しており、弱含みの状態が続いています。

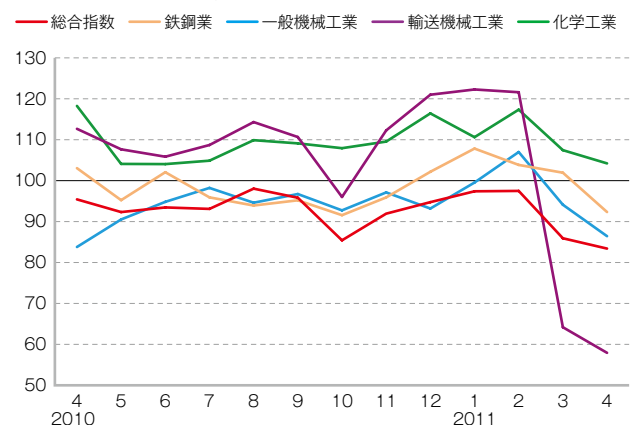
消費面では、大型小売店販売額は、新店効果に加え、節電関連商品等に動きが見られており、衣料品、身の回り品等総じて好調に推移しました。住宅建設については、貸家が減少した一方、分譲マンション、持家が堅調だったことから前年実績を上回りました。

1. 生産活動 | 震災の影響で2ヵ月連続で低下

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は83.4となり、前月比マイナス3.2%と低下しました。

東日本大震災により部品供給体制が寸断された影響が大きい輸送機械は、前月に引き続き低下した他、鉄鋼、一般機械、化学等、主要業種も軒並み低下しました。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値)(2005年=100) 出所 福岡県



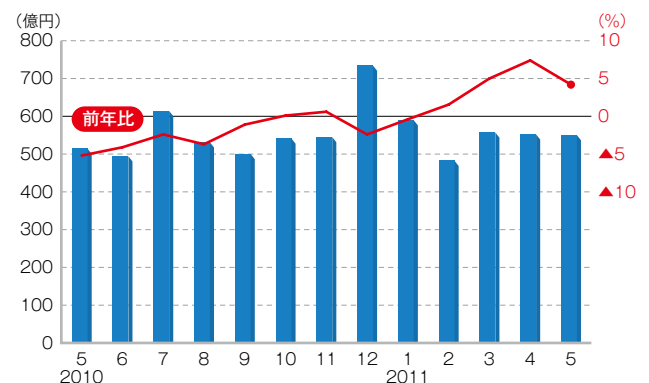
2. 大型小売店 | 4ヵ月連続で前年を上回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比4.2%増の550億円と、4ヵ月連続で前年を上回りました。

新博多駅ビルの開店効果の継続に加え、百貨店、スーパーともに節電対策等への動きが見られており、これらに関連する衣料品や身の回り品等総じて好調に推移しました。

■ 福岡県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



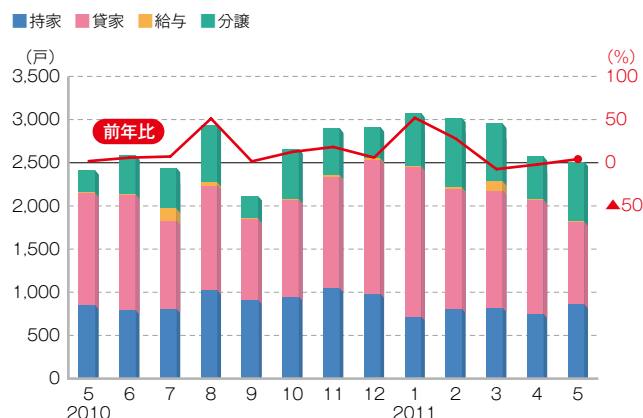
3.住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.1%増の2,512戸と3カ月ぶりに前年を上回りました。

貸家が減少した一方、前年同月に大幅に減少していた分譲マンションが今年は増加し、住宅関連の優遇制度継続を背景に持家も堅調に推移しました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



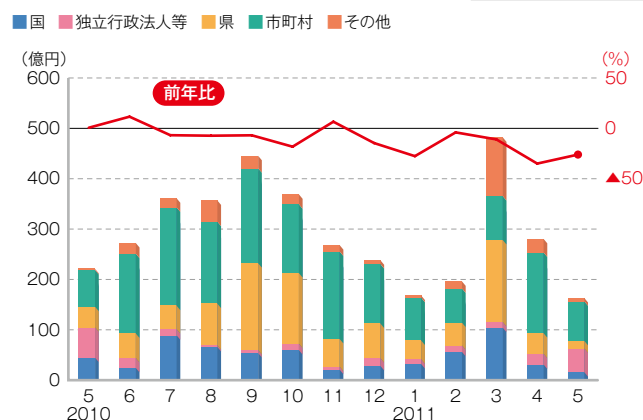
4.公共工事 | 請負金額は6カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.4%減の316件、金額は同26.1%減の163億円となり、請負金額は6カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、下水道設備築造工事等で「市町村」や「その他公共的団体」が増加したものの、「国」「独立行政法人」「県」は前年同月と比べ減少しました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証

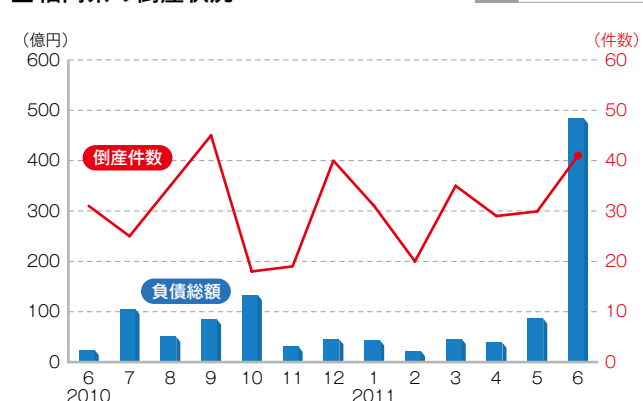


5.企業倒産 | 大型倒産発生により、負債総額は大幅に増加

6月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数は前年同月比32.3%増の41件、負債総額はゴルフ場関連で400億円を超える大型倒産が発生したことにより同20倍増の484億円となる等、件数、負債総額ともに前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

生産活動では、一般機械等が低下した一方、東日本大震災に伴う代替生産の動きが見られたことから食料品等が好調に推移し、全体でも小幅上昇する等、持ち直しの動きは続いています。

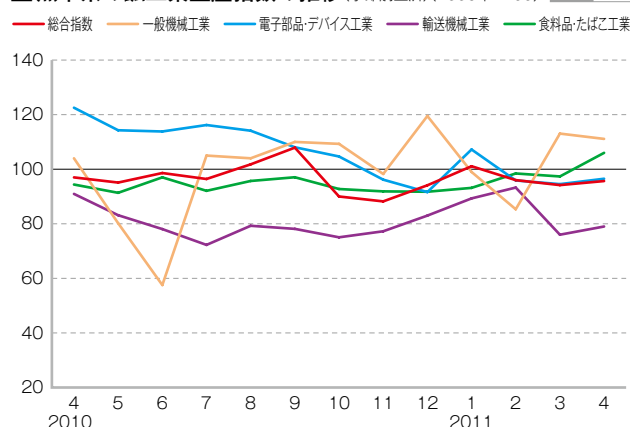
消費面では、大型小売店販売額は、主力の衣料品、飲食料品の動きが鈍い他、天候不順の影響もあり、前年を下回る状況が続きました。住宅建設は、持家や分譲戸建が堅調だったことに加え、貸家が増加したことで、前年実績を上回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は3ヵ月ぶりの上昇

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は95.8となり、前月比で1.7%上昇しました。

主要業種では、一般機械は低下したものの、東日本大震災に伴い清涼飲料等で代替生産の動きが見られたこと等から食料品が上昇し、全体の生産指数も小幅上昇しました。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値) (2005年=100) 出所 熊本県



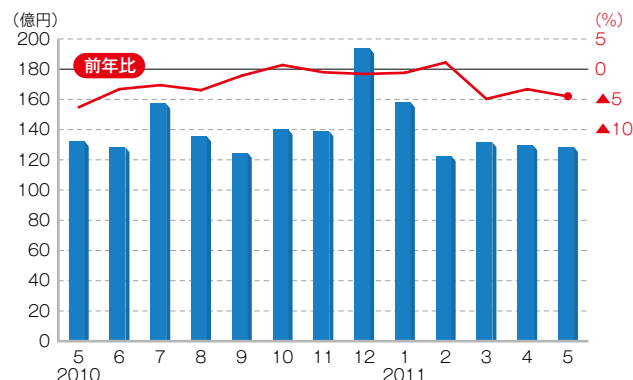
2. 大型小売店 | 3ヵ月連続で前年を下回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比4.5%減の129億円で、3ヵ月連続で前年を下回りました。

主力の衣料品、飲食料品の動きが鈍い他、天候不順の影響もあり、前年を下回る状況が続きました。

■ 熊本県の大型小売店販売額

出所 九州経済産業局



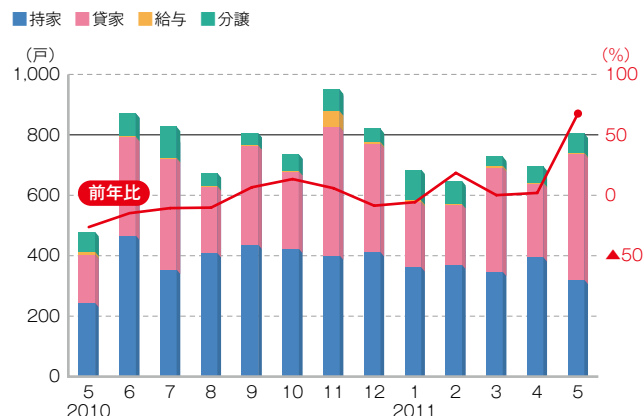
3.住宅建設 | 4カ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比67.6%増の803戸と4カ月連続で前年を上回りました。

東日本大震災等の影響により前月まで着工が低調だった持家や分譲戸建が堅調に推移した他、住宅エコポイント制度の期間短縮を背景に貸家で着工を前倒す動きが相次ぎました。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



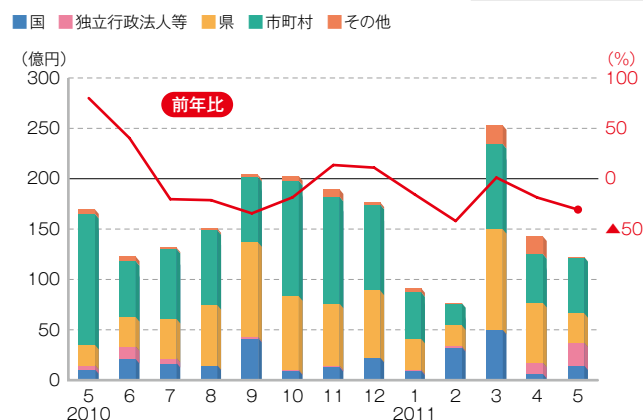
4.公共工事 | 請負金額は2カ月連続で前年を下回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.7%増の223件、金額が同31.5%減の116億円となりました。請負金額は2カ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、「国」や「県」が増加となったものの、前年同月に大型工事のあった「市町村」が反動減となり、また、「独立行政法人」も前年を下回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



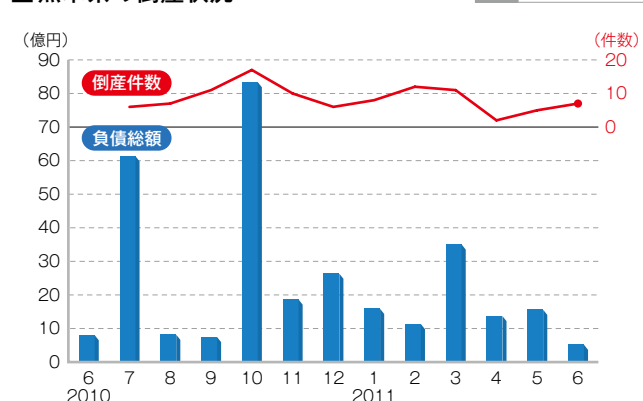
5.企業倒産 | 件数、負債総額ともに前年を下回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比22.2%減の7件、負債総額は同34.8%減の5億円となり、件数、負債総額ともに前年を下回りました。

前月比では、倒産件数は増加したものの、負債総額は減少しました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

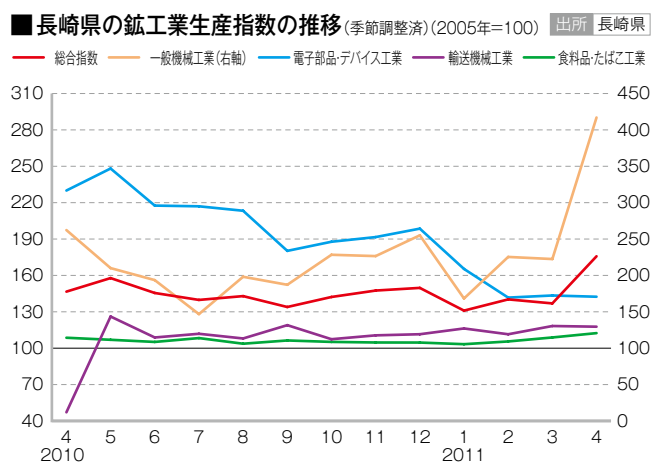
生産活動では、国内外の火力発電所に向けたボイラーやタービンといった一般機械の生産が大幅に上昇した他、高操業を続ける造船等の輸送機械もほぼ前月並みの水準を維持する等、企業の生産活動は持ち直しの動きが続いています。

消費面では、大型小売店販売額は、老舗百貨店の閉店セールにより衣料品が好調だったものの、飲食料品等が振るわず、全体では小幅ながら前年実績を下回りました。住宅建設については、持家が前年と同水準を維持したことに加え、貸家が好調で前年実績を上回りました。

1. 生産活動 | 総合指数は2ヵ月ぶりに大幅上昇

4月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きをみると、総合指数は175.3となり、前月比で28.1%上昇しました。

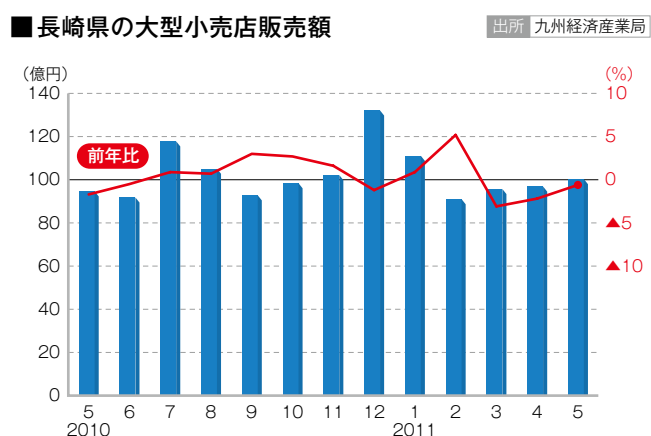
主要業種では、新興国や国内の火力発電所に向けたボイラーやタービン等の需要が活発化したことで一般機械が大幅に上昇した他、高操業を続ける造船等の輸送機械もほぼ前月並みの水準を維持しました。



2. 大型小売店 | 3ヵ月連続で前年を下回る

5月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%減の100億円と、3ヵ月連続で前年を下回りました。

老舗百貨店の閉店セールで衣料品が好調だったものの、飲食料品等その他の品目の販売が振るわず、全体的には前年実績を小幅に下回りました。





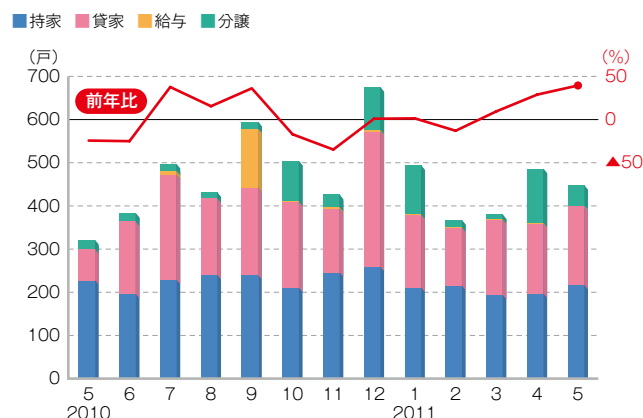
3.住宅建設 | 3ヵ月連続で前年を上回る

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比39.6%増の448戸と3ヵ月連続で前年を上回りました。

持家が住宅関連の優遇制度継続を背景に前年実績とほぼ同水準を維持したことに加え、前年同月に大幅に減少していた貸家が今年は増加しました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



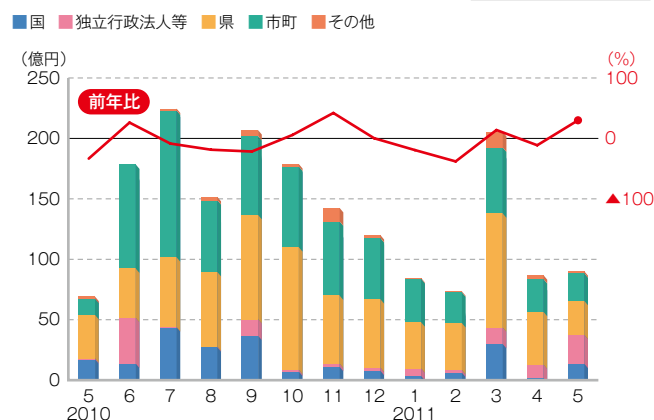
4.公共工事 | 件数、請負金額ともに前年を上回る

5月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比3.6%増の175件、金額が同30.3%増の90億円と、件数、請負金額ともに前年を上回りました。

発注者別では、大学病院改修等で「独立行政法人」が前年を上回っています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 件数、負債総額ともに前年を下回る

6月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数は前年同月比36.4%減の7件、負債総額は、同43.5%減の3億円と件数金額共に前年を下回りました。

前月比では、倒産件数は変わらず、負債総額は減少しています。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

